

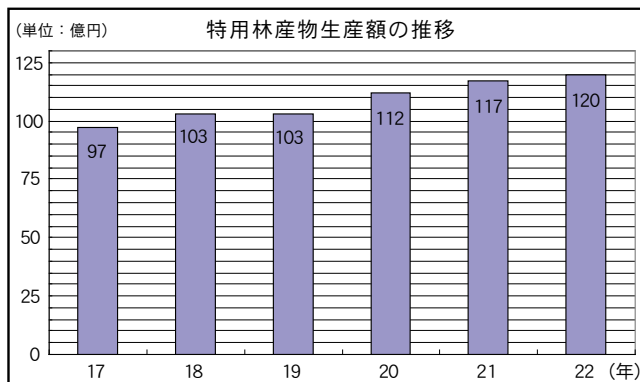
# 行政の窓



## 平成22年 特用林産統計について



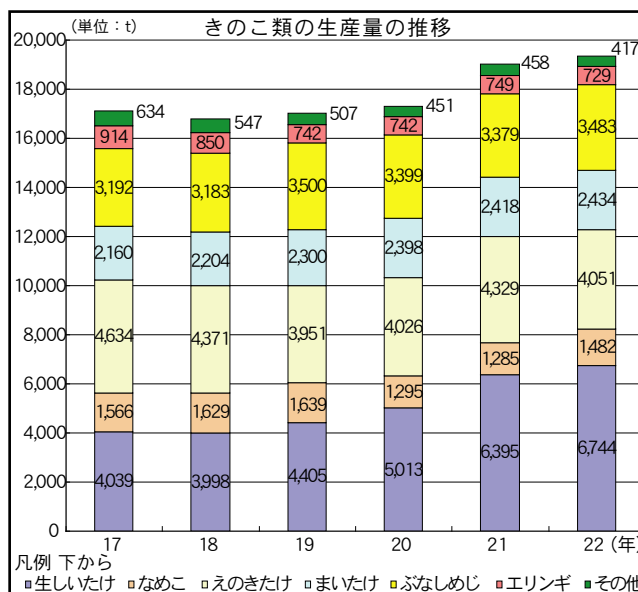
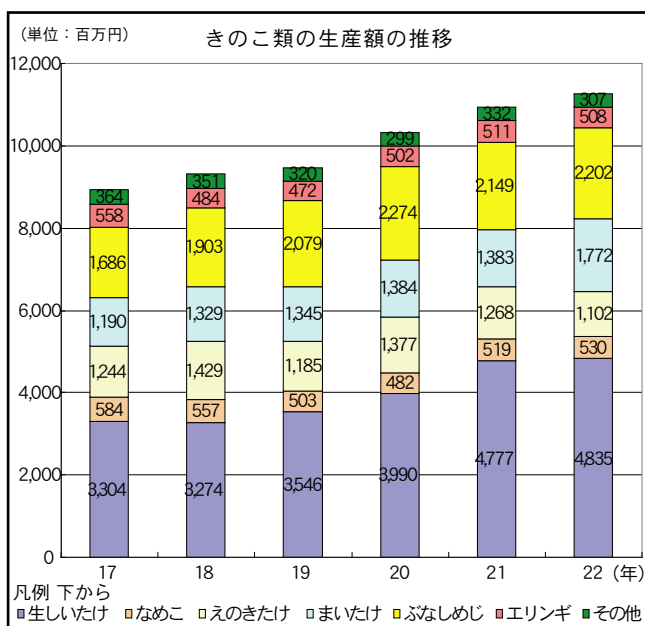
【特用林産物生産額】 道内での平成22年の特用林産物総生産額(推計)は、約120億円(対前年比102.6%)となっています。



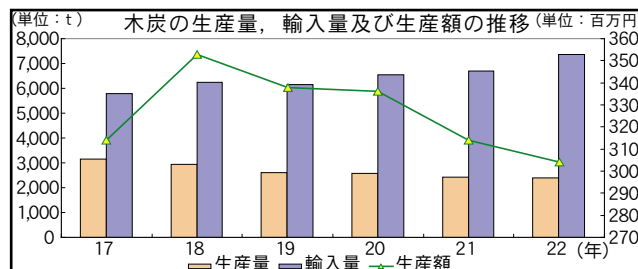
【きのこ類の生産動向】 平成22年の生産額(推計)は約113億円(対前年比102.9%), 生産量は19,340t(同101.7%)となっています。

このうち、道内で最も生産者の多い「生しいたけ」は、原木、菌床あわせて生産額が約48億円(対前年比101.2%), 生産量が6,744t(同105.4%)となっており、栽培形態は、原木栽培から菌床栽培への移行が進んでいます。

その他の主なきのこ生産量では、なめこ1,482t(対前年比115.3%)などが増加し、えのきたけ4,051t(対前年比93.6%)などが減少しています。



【木炭の生産動向】 平成22年の生産額は304百万円(対前年比97.1%), 生産量は2,396t(同99.3%)となっています。また、輸入量は増加傾向にあり、22年は7,365t(対前年比110.0%)となっています。



【主な山菜類の生産動向】 平成22年の生産額は442百万円(対前年比96.3%), 生産量は2,161t(同115.0%)となっています。道内における山菜類の生産は、天然物の採取が中心となっています。

山菜類の生産量及び生産額の推移 (単位: t, 百万円)

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22
ふき	生産量 1,756	1,802	1,497	1,732	1,456	1,924
	生産額 346	308	278	358	249	283
うど	生産量 85	291	267	284	253	108
	生産額 40	132	111	115	113	53
わらび	生産量 34	100	97	92	99	52
	生産額 19	53	42	40	45	21
たけのこ	生産量 37	113	107	60	63	47
	生産額 19	63	61	37	35	25
ギョウジャニンニク	生産量 7	6	8	7	8	30
	生産額 15	12	14	13	17	60
合計	生産量 1,919	2,312	1,976	2,175	1,879	2,161
	生産額 439	568	506	563	459	442

(水産林務部林務局林業木材課 林業担い手グループ)